PART 16

～ビーチで水着撮影④～

《ダッシュで逃げる須藤とスタッフ。栞は後手縛りのためうまく走れず引き離される》
「くそ、逃げられたか……おい、お前は待て！」
「お願い、許してください！」（捕まったら公然わいせつで警察に突き出される！）
《人気が少ない海岸に逃げる栞。撮影を見ていたギャラリーがついてくる》
（栞ちゃんのストリーキング！）
（超ＶＩＰ限定ショー最高ｗ）
「よし捕まえた！」
《肩に手をかける警備員》
「きゃあああっ」
「おとなしく捕まらないと罪が重くなるぞ」
「そ、そんな！　許して！」
「今でも裸と同じだよ」「アソコの毛まで丸見え！ｗ」
「いや、見ないで！」《男を振り切って走り出す栞》

©ILLUSION


《男に掴まれていた水着の紐が引っ張られ、水着全体が破れて栞は全裸に》
「きゃあああっ！」
「待てっ」
「いやあっ」
「おい、あの子素っ裸ｗ」
「こっち走って来るぞ」
「公然わいせつだ、捕まえてくれ！」
「ち、違いますっ！」
「よし、捕まえようぜ」
「後ろに縛られてる？」
「緊縛プレイかｗ」
《実は超ＶＩＰの男たちに追われ、全裸で逃げ回る栞》
（けつぷりぷり！）（こんな可愛い子を裸に剥いて追い回せるとはｗ）（少し触ってもいいんだよな？）
「おい待て！」《尻を撫でる》「きゃあああっ！」
©ILLUSION


《わざと逃がされ、超VIP会員の間を全裸で走り回らされる栞》
「いい加減諦めろ。その恰好でどこに逃げるんだ？」
（ああ、もう走れない……でも捕まったら……）
（そろそろだな）《男たちに目配せ》
《栞の正面に回りこむ男たち》
「素っ裸で走ってくるｗ」
「おっぱい揺れすぎ」
「もう諦めな」
「お願い、逃がしてください」《涙目で懇願》
「その代わりにおっぱい揉んでいい？」「俺はお尻ｗ」
「いやです！　きゃ、きゃあ！」《男達の手を避けて向きを変えるが、砂に足を取られる》
©ILLUSION


《バランスを崩して倒れた栞》
「え、こんなの、いや…」
(痺れて身体が動かない)
「呆れたな。二つの穴を丸出しにするとはな」
「さすが露出狂！」
「完全に公然わいせつ罪ｗ」
「違うんです！」
「大人しく罪を認めるか？」
「いえ、これには訳があるんです。見逃してください」
「アソコ丸出しでまだ認めないの？」
《屈んで顔を近付ける》
「そこから見ちゃ駄目ですっ！」
「こういうプレイが好きなんだｗ」
「真性の変態！ｗ」「違いますっ」
「しぶとい女だなあ」
©ILLUSION

《痺れて動けない栞。男たちが後方に移動》
「こっちからだと…丸見えだなw」
「あそこもアナルもばっちり！」
「恥ずかしくないのかねえw」
「お願い、見ないで！」
（私、何て格好を…）
「よし、公然わいせつの証拠として撮影するぞ」
「い、いやあぁっっ！」カシャカシャカシャ
（腰振ってエロ過ぎw）（可愛くてもっと苛めたいw）

©ILLUSION

《ようやく痺れが解けた琛》

「そのまま動くな。動いたらこの写真と一緒に警察に突き出すぞ」

「それだけは許してください！　言うとおりにしますから…」

「それなら罪を認めて、こう言うんだ…」

《口上の命令に顔を歪める琛》

「…言えないなら別にいいぞ」

「いえ、言います…私、S学園2年1組の涼川琛は、大勢の前で裸を見られるのが好きな露出狂です。今日は水着撮影でしたが、撮影スタッフの反対を押し切り、無理やり裸同然の恰好となってしまいました。深く反省していますので、どうかお許しください」

（本当は須藤さんに騙されたのに、絶対に言えないし…）

©ILLUSION

「これでいいですよね？　縄を解いてください」
「うーん、無理やり言わされてる感じがするなあ」
「そんな…どうしたらいいんですか」
「もっと変態っぽいポーズで、笑顔で言ってもらおうか…縄は解いてやるから、そこでブリッジするんだ」
「そ、そんな…」（こんなの絶対おかしい！…でも…）

《男たちに見下ろされる中、全裸でブリッジする栞》

「これでいいですか？」
（いやあ、恥ずかしい！）
「なんだその上品な恰好は？露出狂なんだから足をおっ広げろよ」
「そんなこと、できません！」
「あはは、四つん這いでケツ上げてたくせにｗ」
「嫌なら別にいいんだぞ」
「すみません、分かりました」
（死ぬほど恥ずかしいのに…）

©ILLUSION


《少しずつ股を開へ来。
大股開きになるまで許されない》
「これ以上無理ですぅ…」
《ガクガク足が震える》
「まあいいか。カメラ目線で笑うんだ」
「いや、撮らないで！」
「だめだ、証拠だからな」
（あはは、いい絵だな）
「あそこおっぴろげて男に見られてる感想は？」
「…すごく気持ちいいです」
「じゃあさっきのセリフをその格好でもう一回な」
「…はい」（早く終わって…）
©ILLUSION


《屈辱の口上を言い終えた琛》
「これでいいですよね？」
「最後、変態の証明に、そのポーズを1分間キープするんだ」
「そんな！」
「できたら見逃してやるぞ。水着も貸してやる」
「あの…警察には？」
「訴えないでやる。大きな騒ぎにもなってないしな」
「分かりました…」
（やるしかないわ）
「あと30秒だぞ、頑張れ」
「はい…」（腕が辛いけど、あと少し…）
《警備員が股間に電マをそっと近づけていく》
©ILLUSION

「あと20秒」「はい」
《電マを股間に当てる》
「きゃっ！」
「どうした？」
「あ、あん」
「気持ちいいのか？」
《秘裂を縦にこする》
「あんっ！　駄目ぇ！」
「何もしないとは約束してないぞ。頑張れ」
「そんな！　あ、あぁん」
「声がエロ可愛いね」
「腰振って嬉しそうｗ」
「あと10秒だぞ」《クリに当ててスイッチオン》
「あ、あひぃぃ！」

©ILLUSION

《全身をビクビク震わせ絶頂に達した栞、ブリッジが崩れて砂浜に倒れこむ》

「栞ちゃんの初イキ、ばっちり撮れたぞｗ」

「派手にイッたね」「大股開きで寝ちゃってｗ」

《絶頂後の裸身をあらゆる角度から撮影・配信》

「イッたあとのアソコもアップで生配信っと」

「男に囲まれてるのにアソコ丸出しでよく寝れるな」

「露出狂の素質十分ｗ」「まだまだ調教してあげるよｗ」

©ILLUSION


《3分後、ようやく目覚めた琛》
「……？　え、きゃあああっ！」
「今さら隠しても遅いよ」
「いいイきっぷりだねｗ」
「濡れたアソコもばっちり見せてもらったよ」
「そんな！　いやあ」
「起き上がるな！」
「え？」
「君、残り3秒でブリッジポーズ崩したよな」
「それは、あんな風に邪魔するから……」
「とにかく、露出狂の証明は失敗だ。警察に突き出すぞ」
「そんな！　お願いです、それだけは許してください！」
「じゃあ、自分で足をがばっと開け」「……はい」
©ILLUSION


《大股開きで新たな口上を命じられた栞》
「涼川栞、初めてイッちゃいました。電マで責めてもらって、沢山の男の人に見てもらいながらイッちゃって、とおっても気持ちがよかったです……」
「続きは？」
「…皆様、露出狂の栞のイッたあとのグショ濡れおOんこ、よくご覧ください…」（嘘でしょ、こんなの）
「カメラを見てにっこり笑え！」
「はい」（全部、見られてる…）
《笑顔強要のまま、顔、胸、股間をアップで撮影》
「まあ確かに、露出狂と認めてやってもいいかな」
「普通の女の子には絶対無理ｗ」「よく笑えるねえ」
「…ありがとうございます。あの、水着を…」
©ILLUSION

PART 17

～ビーチで水着撮影⑤～


《渡された水着を着て恥じらう栞》
「あの、他の水着はありませんか？」
「これしかないぞ、何か不満か？」
「更衣室に帰る時には、人が大勢いるところを通らなきゃいけないんです。この水着では通れません」
「君、露出狂なんだろ？」「アソコ丸出しで笑ってた癖にｗ」「野外絶頂ショーしたのにそれは無いｗ」
「…でも、これじゃあ通報されるかもしれません」
「大丈夫、ここはプライベートビーチだから、警備員の俺が許可すれば通報はされないよ。嫌なら裸で帰れ」
「分かりました」（少しでも人が少ない所を通ろう）
「帰る前に、少し撮ってやるよ」
©ILLUSION


《両手を上げるポーズを指示》
「無理やり着せたと思われないように、カメラに向かってごあいさつしろ」
「素敵な水着をありがとうございます。可愛いデザインで、とても嬉しいです」
「露出狂にしては大人しいねw」
「よく似合ってるよ」「笑ってー」
（もういや、こんな格好）
「これでいいですか？　それではそろそろ…」
「何言ってんだ。今度は後ろを見せるんだ」
「後ろはちょっと…」
「露出狂の癖にもったいぶるなよ」
「…すみませんでした」
（今は露出狂になりきるのよ…恥ずかしいけど）
©ILLUSION


《警備員とギャラリーに背を向ける栞》
「後ろから見ると、ほとんど裸だなw」
「いや、見ないでください」
「この格好でビーチを横切らないと帰れないよw」
「そ、そんな…」
「ミスS学園がケツ丸出しで歩いたら大騒ぎかもなw」
「そんな！　ひどいです、許してください」
「あれ？　君、露出狂なんだよな」
「…そうですけど…」
「それならもっと楽しそうにしろよ」「……」
©ILLUSION

「俺達が無理やり着せたと思われたらたまらないな」

「カメラに向かって挨拶してもらおうか」

「素敵な水着をありがとうございます」

「ほら、こんなポーズで」

「…とっても嬉しいです…」（嫌だ、馬鹿みたい）



《破廉恥水着でしばらく撮影》

「それじゃあ移動するぞ」

「はい…」《警備員についていく》

《人込みが近づいてきて緊張する琴。警備員は周囲を見回しながらのんびり歩く》

「お、あそこに座ってもらえよ」「え、無理です…」

©ILLUSION


《ビーチバレーをしている3人組に近づく栞》
「あの…私もバレーをしていいですか？」（断って！）
「え、その水着で？」「バカにしてるの？」
「いえ、そんなことないです」（命令だから…）
「へえ、本気でやるけどいいわね？」「…はい」
「2対2で、あなたが1点決めるまで終わらないわよ」
「分かりました」（1点だけならなんとかできそう）
（ふふ、この子を恥ずかしい目に遭わせればいいのね）
（今日はいいバイトだねｗ）
（可愛い子なのに、ちょっと可哀想ｗ）
©ILLUSION


《数人のギャラリーが気づきコートを囲む》
「それじゃあ始めるわよ。15点先取で勝ち。負けたチームはペナルティ。あと、あなたが1点取るまで終わらないからね」「分かりました」
《ゲーム開始。相手のアタックに合わせ栞がジャンプ》
「えいっ」「きゃあっ」（高い！）
《栞の手を弾いてコートに入る》
「はい1点」「ナイスアタック！」
「ブロック低すぎ！」「すみません」
「おお！」「オッパイ揺れすぎ」「ポロリしそうｗ」
（これは余裕だね）
（私達、一応プロだしね）
（ギャラリーの皆さんをもっと楽しませないとねｗ）
FIRE AWAY!
©ILLUSION


《次のポイントから、わざと栞が返しやすいボールを打ち、徐々に水着を緩ませる…》
「ブロックして！」
「はい」《高くジャンプ》
「えい！」《栞の胸に向けてアタック》
「痛っ！」《上半身にボールを受け、返せず着地》
「おおっ！」「ポロリ出たー」「これは恥ずかしい」
「い、いやあっ！」
「きゃ、可哀想」（笑）
《いつの間にか女性のギャラリーも増えている》
「絶対わざとだよね」「なにあれ、露出狂？」「最低」
「あの、もう無理です」（水着が戻らない…事情を知らない大勢の人にまで胸を見られるなんて…）
「何言ってんの？」「1点取るまで終わらないよ」
「今度はあんたがサーブしていいから」
「がんばれー」「みんな呼んで来ようぜ」
©ILLUSION

《続々と増えるギャラリー。必死に水着を戻す栞》
「そーれっ」《ギャラリーの合唱》
（サーブを決めないとチャンスが無いのよ）
「えいっ！…きゃあっ」《打つ瞬間に胸が露出》
「あは、またポロリ！」「信じられなーい」「お尻も振っちゃって」「ミスS学園らしいよ」「嘘っ？」
「エロ可愛いくて最高！」「変態！」
（嫌あっ！　早く終わって…）

《レシーブを返され、乳房を隠せずプレーを続ける栞》
（ふふ、そろそろじゃない？）（可哀想にねｗ）
（もう裸みたいなもんだからいいでしょｗ）

©ILLUSION


《5ポイント目。栞の水着の細い鎖があちこち外れ、地面に落下。すぐに警備員が回収してしまう》
「きゃ、きゃあああっ！」
「ついに素っ裸ｗ」「アソコ丸見え！」「エロいｗ」
「危ないからねー」《落ちた水着を回収》
「いやあああっ、水着を返して！」
「いやもう着れないよ、これ」
「そんな！　じゃあどうしたら…」
「予備もないからそのまま更衣室に帰るんだなｗ」
「そんなの無理です…」
「ちょっと待って。１点取るまで終わらないはずよね」
「裸で続けろってかｗ」「鬼だなーｗ」「可哀想ｗ」
「すみません、許してください」
「だーめ。その代わり、試合が終わるまでに1点取ったら、私達のユニホームを貸してあげる」
「……はい」（やるしかないのね、裸で……）
©ILLUSION


《さらにどんどん増えるギャラリー》
「本当だ、素っ裸でバレーしてるw」「あの子、すっげえ可愛いのになんで裸？」「なんかの罰ゲーム？」「AV撮影？」「恥ずかしそうw」「震えてるw」
（嘘でしょ……真昼のビーチで、大勢の人の前で、裸でバレーしてるなんて…）《目の前がぼうっと霞む》
「ほら、ちゃんとサーブしてよ」
「はい…」
「私たち真剣にやってるんだから真面目にやりなよ」
「試合終了まで1点も取れなかったら罰ゲーム追加ね」
「え、そんな…」
「罰ゲーム楽しみw」「がんばれー」「そおれっw」
（ストリーキングの次は全裸バレーw）（今日のイベント最高！）（次の調教メニューは……楽しみ！）
©ILLUSION

《ポイント7対10。栞はまだ0点》
「あんたのせいで負けそうじゃないの」
「すみません……」（みんな上手すぎる…）
「言っとくけど、追加の罰ゲームは甘くないからね」
「裸でバレーより恥ずかしいのかあ」「見てみたいw」
（そんなのいやあっ）
「おお、ジャンプサーブ！」「頑張れー」
「お、本気になったかな」「でもまだまだだねー」
《あっさりレシーブ、トス、アタックを決める》
「ああ、惜しい」「おっぱいブルンブルンさせたのにねw」「あと4点で罰ゲーム！」「ファイトー」
（大勢が見てる……もう消えたい）

©ILLUSION


《ポイント8対13。栞は依然として0点》
「負けたら罰ゲームはあんただけね、0点なんだから」
「え、そんな……」
「ギャラリーも沢山いて恥ずかしいねw」
「私達があと2点取れば終わっちゃうよ？」
「罰ゲームなんだろうw」「そおれっ！」
《厳しいサーブが栞に向かう》
「えいっ」（絶対返さなきゃ）
「おお、大股開き！」「厳しいサーブ」「容赦ないw」
「痛っ、ああっ……」
《ボールは栞の腕を弾き後方へ》
「レシーブくらいちゃんとしてよ、もう！」
「すみません…」（ああ、1点だけ取れれば……）
©ILLUSION


《ポイント8対14。栞は獲得0点のまま》
「もう後がないよ、気合入れていこう！」
「はい！」（初めて励ましてくれた！）
《ラリーが続き、栞は全裸でコートを走り、ジャンプし、ギャラリーを楽しませる》
（ふふ、3人に弄ばれてるのにね）
（必死に頑張っちゃって、可愛いｗ）
《ぎりぎり届きそうな所へボール、横っ飛びする栞》
「えいっ…ああ…」
「残念」「終わったー」
《勢い余って左足を大きく開いて横に倒れる栞》
「い、いやあっ！」
「おお、ぱっくり！」「大胆ポーズｗ」「自主的に罰ゲーム？ｗ」
「はい、試合終了！」
「罰ゲーム頑張ってｗ」
©ILLUSION


《栞が1点も取れず試合終了。ギャラリーが注目する中、ネット前に4人が集合》
「罰ゲームはこうよ…」《耳元に囁く》
「そんな……大勢の人の前で、酷いです」
「嫌ならいいのよ。警備員さんに引き渡すから」
「やります、やりますから……」
《顔を真っ赤にしながら、ボールを頭上で持つ栞。どんどん増えるギャラリーを見て震える》
「おおっ」「変態？」「お、ホントに裸だ！」
「きゃあっ」「何あのコ？」「AV？」
「やっぱり無理です。許してください」
「ほら、ギャラリーの皆様にご挨拶」
©ILLUSION

PART 18

～ビーチで水着撮影⑥～


《しばらく抵抗したが、脅され諦める琛》
「じゃあ、にっこり笑ってご挨拶して」
「涼川琛、罰ゲームを披露します……頭の上にボールを持ったまま、コートを一周します。露出狂の私の体、よく見てください…」（嘘よ、こんなの）
「露出狂なんだw」「じゃあこれはご褒美じゃんw」
「まあ、いいか。それじゃあ、ご自慢の裸をよく見てもらいなさい」
「ボール落としたら罰ゲーム追加だよね」「触ってもいい？」
「駄目です！」
「すみません、お触りは禁止でーすw」
（どうしてこんなことに……もう消えたい）
© ILLUSION


《栞の全裸を見るため、男達がコート沿いに列を作る》
「これじゃあ、近すぎます……」
「何言ってんの、じっくり見てもらわなきゃ」
「触られないならいいじゃない」
「でも…」
《小突かれ、口上を述べる栞》
「それでは、全裸でのコート一周を始めます。お触り禁止でお願いします」
「待ってました！」「じっくり見てあげるよー」
「きれいなオッパイだね「あそこの毛は薄いねｗ」
©ILLUSION


《全裸でのコート一周が開始。至近距離に男たち》
「そんなに近くで見ないでください」
「歩くの邪魔はしてないよ」「露出狂なんだよね？」
「本当は嬉しいくせに」「綺麗な裸見せつけたいんでしょ」
「早く歩きなさいよ」
「一周しないと終わらないわよ」
「はい……」
《間近からの男たちの視線に震えながら歩く栞》
（やっと半周できた……早く終わって）
「若いおっぱい張りがいいね」「あそこの毛が薄いね」
「お尻プルプルしてて最高！」「にっこり笑ってー」
「なんだかんだ言って嬉しそう」「最低ねー」
「遅いわねー」「あと1分で罰ゲーム追加ね」
「そ、そんな…」「罰ゲームいいねえ」「頑張れーw」
©ILLUSION


《さらに栞に接近し、手を伸ばす男たち》
「手をどかしてください。これでは歩けません」
「触ってないからいいよね」
「はい、ルール違反ではないです」
「少しくらいぶつかっても歩けばいいじゃない」
「でも、これじゃあ…」
《胸と尻、股間の数センチ前に手を置かれ、動けない栞》
「早く歩いた方がいいよ」「追加の罰ゲームってなんだろ?」「このまま公道を歩くとかw」
「ネットで生中継すれば?」「人生終わっちゃうねw」
「そんな! 絶対ダメです!」
「みんないい案ですね。どれにしようかなあ」
「嫌ならわがまま言わないで、早く歩かないと」
©ILLUSION



《仕方なく歩き始める栞。すぐに胸に手がぶつかる》
「あ、きゃあっ」
「おっと、偶然ぶつかっちゃった」《軽く胸を揉む》
「い、いやあっ」《反射的に後ずさる》
「お、栞ちゃんのお尻、やっぱりぷりぷり」《ぶつかった尻を撫でる》
「だ、だめえ」《腰を前に逃がす》
「うわ、偶然栞ちゃんのアソコに！　柔らかいね」
《繊毛をさわさわと撫でる》
「ひいぃ、いやあっ！」

「偶然ぶつかるのは仕方ないけど、揉むとか、あそこに指を入れるのはダメですよー」
「はーい」「あ、偶然触っちゃった」「すべすべだな」
「きゃあああっ…あ、あんっ、駄目、そんなっ、あぁ」
《いつの間にか3人の手がぺったり張り付き、乳房とお尻と秘部を撫でられ放題になる栞。ボールを落としたら罰ゲームのためいやらしい手を払えない》
「変な声出さないでよw」「あと40秒よ」

©ILLUSION


《沢山の男の手に触られながら必死に進む様。男たちの手が徐々に大胆になっていく》
「あと15秒よ」
(最後の角を曲がった…あと少しで終わりよ)
「来た来た！」「ラストスパートだね！」
「あ´あんっ！ダメです´揉まないでください」
「どう見ても感じさせてくださいって合図だよな」
「もっとサービスしてあげようぜ」
「え？やめてください！あんっ」
《乳首を揉まれ´尻の穴を突かれ悲鳴》
「あと10秒」
「お願いです´離して…あ´あんっ！」
「嬉しそうだねw」「よし´もっと感じさせてあげる」
《クリ○リスを突かれ´腰を震わせ´膝が崩れる様。手からカが抜け´ボールを落としてしまう》
「残念´罰ゲーム追加でーす！」「そんな´ひどい…」
©ILLUSION


《栞がビーチバレー女子3人に引き立てられ、再びネット前に立たされる》
「次の罰ゲームは、ボールをもう一つ追加ね」
「頭の上で2つボールを持つなんて、無理です」
「じゃあ足で挟んだらいいじゃない」
「そんな…」
「やっぱり警備員さんに引き渡す？　そしたら警察に突き出されるんじゃない？」
「分かりました…」
《足を広げ、太ももにボールを挟む栞。笑顔も強要》
「うわ、完全に変態ｗ」「信じられなーい」
「今度はそれでコート一周？」「大変だねー」
「やっぱり、これで歩くなんて無理です」（足も閉じられないし、恥ずかし過ぎる…）
「露出狂の癖にわがままねえ」
「どうしよっか」
©ILLUSION


《ギャラリーの好奇の視線を浴びながら懇願する栞》
「お願いです、他のことならしますから…」
「じゃあこうしよっか…」《耳打ち》
《少しほっとした顔で頷く栞》
「この格好で1分間2つのボールを持つゲームをします。もし落としたら、どんな罰ゲームでも受けます」（立っているだけでいいのよね）
「ただし、警備員さんに借りたこれで私たちが応援してあげる」「これ使うと喜ぶって言ってたよw」
《ちらりと見て表情が固まる栞》
「え、それは！　駄目です！」
「どうして焦ってるのw」「どう使うのかな？」
「電マ好きなんだw」「本当に変態かも」
「何それー？」「栞ちゃん、教えてーw」
「それじゃあ、スタート！」
「無理です、やめて！」
©ILLUSION


《警備員に借りた電マを栞に当てる3人》
「へえ、あなた、こんなの使うの？ｗ」「どうしたらいいのかな？」「こんな感じ？」
《わざとスイッチを入れず、乳首や股間をこする》
「あ、あ、あぁん……や、やめて……あぁ」
《3か所を同時に責められ悶える栞》
「そんなに動いたらボール落ちちゃうよー」
「がんばれー」「いい声で啼くねえｗ」
「頑張って、あと30秒よ」
「はい…あ、あん！」（もう少しよ）
「このスイッチ何だろう？」
「みんなで押してみようよ」
「だ、だめえっ！」
「せーのっ」
「きゃ、きゃああっ」
「ほら、あと15秒よ」
「あっ、あん、だめえっ」
《ビクビク震える栞》
©ILLUSION


《3点責めに喘ぎ悶え、ついに絶頂に達して失神》
「あーあ、またいっちゃった」
「大勢が見ている前で、大した度胸ねw」
「恥ずかしがり方が可愛いわね」
「もっと苛めたくなっちゃう」
「女子怖いなあw」
「これで今日は絶頂2回目だね」
「今日の羞恥ショー、ぜーんぶ生配信されてるって知ったらどんな顔するかな?」
「学校の先生たちも会員だから見てるらしいぞw」
「ビーチでの露出調教チケット、高かったけど参加してよかった」「やっぱり生で見るのは最高だねw」
「早くアソコに指入れて悶えさせたいなw」
「皆さん、もうすぐ栞ちゃんが起きますのでご静粛に」
©ILLUSION

使用したプログラム・素材等

■本作品は、ILLUSIONの「ハニーセレクト ～コンプリートパック～」を使用して作成しています。（http://www.illusion.jp/preview/honey_party/index.php）

■また、イリュージョン公式ページに投稿のキャラデータやシーンデータを活用しています。
その他、個人HPに掲載の服なども使用しています。各作者の方に感謝いたします。

■本作品のコンテンツの著作権は ILLUSIONに帰属し、販売等は認められていません。
転載・販売等は行わないようお願いします。